

ぽっかぽか

7・8月号

きりんぐみ

暑い夏が少しずつ始まっています。今年は梅雨入りが遅かったですが、室内でも身体を動かして子どもたちがすっきり！できるように環境を整えていきたいと思えます☆

外に出られない日は、絵本などで雨や梅雨についてのお話を聞いたり、室内遊びが充実する中で今までと違うお友達関係ができたりと楽しく過ごしていたきりん組です。



保育園には“神経衰弱”や“かるた”などのカードゲームが様々あり、年中さん中心に遊んでいます。始めは大人が読み手になったり間に入ってトラブルの仲裁などしていましたが、この頃は子どもだけで役割を決めることができたり、トラブルが起きても言葉で言いあいながら自分たちで解決して再び遊び続けることができるようになってきています。

そんな年中さんの姿を見て、年少さんも「やってみたい」と思うようになったようで、仲間に入れてもらって遊びはじめました。年中さんは、優しくやり方を教えてあげるとも素敵な姿が見られます。

そうすると今度は年少さんがかるたを子どもだけでやるようになってきました。字が読めないながらも絵を見て読み手が一生懸命物の名前を言い、他の子はそれをちゃんと待っているのです。

こういったカードゲームの時に限らずままごとや積み木などでも、年中さんのいいところを真似している姿が多く見られるようになってきました。

ままごと遊びでパン屋さんのようなことをしてみたり、積み木の難しい積み方をしたりというのは、年少さんだけの遊びの中ではなかなか見られない事です。

年中さんもまた、そんな年少さんに優しく教えてあげる余裕が出てきたようです。これからどんな遊びが発展してくのか楽しみです♪

プール遊びが始まります。たっぷりの栄養と休息、十分な水分補給をし、夏を楽しみたいと思えます！

